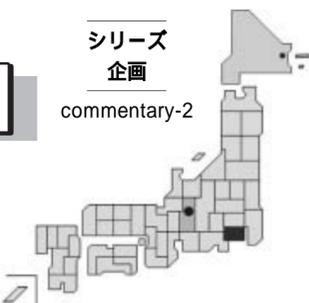


地域活性化を担う「産業観光」

シリーズ
企画

commentary-2



旅行が目的	知らない土地への憧れ 娯楽・慰安 癒し・気分転換	旅行は手段
どこへ行くか	旅行の目的・動機付け	何をするか
見物・見学・視察	旅行先の行動	参加・体験
観光資源の質・解説	満足感を左右する要素	検証・確認・実感
与えられる感動	感動・満足感の姿	つかみ取る感動
見聞の喜び・感動	満足感のよどころ	知的好奇心の満足
団体に対応可能な規模	受け入れ先の規模	受け入れ先の範囲内
多様性・汎用性	受け入れ先の条件	専門特化
周遊型	例えば旅行の形態	滞在型

新たな「観光地像」の追求が課題

地域の住民を巻き込んだ「新たな観光地づくり」は、今後の地域間競争で重要な力を握っている。とりわけ、現在のような経済状況下では、地域経済に及ぼす観光の役割を見逃すことができない。観光客の誘致は、直接的には間接に、地域経済の活性化に大きく貢献するからだ。そこで、「観光資源」をキーワードに据えながら産業観光に目を向け、観光地としての地域づくりを再検証してみよう。

観光資源の大まかな区分

区分	内容
有形資源	自然 風光明媚な名勝(海浜、山、川、滝、その他) 気候(雪、風、その他) 温泉
	人工 史跡・文化財(社寺仏閣、城郭、その他) 工作物(建物、橋、タワー、ダム、都市景観、その他) 公園(運動公園、庭園、その他) 美術館、博物館、動物園、テーマパーク、その他
無形資源	文化・伝統 郷土芸能、その他 祭り、その他 郷土料理
	特色ある生活様式、風習、その他
産業資源	第1次産業 棚田、田畑、牧場、漁場、集荷場、直売場、漁港、その他
	第2次産業 工場、加工場、ショールーム、産業遺構、その他
	第3次産業 街並み、流通センター、その他

多様化する旅行のニーズと観光資源

観光資源を大まかに区分すると、これまでは有形と無形の資源が中心となっていた。さらに、それらの観光資源と交通機関や宿泊施設など、関連するインフラが融合することで、いわゆる「観光地」が形成されてきた。例えば、温泉があれば温泉地、社寺仏閣なら門前観光地と呼ばれるなど、それぞれ素材別の観光資源(観光地)として成り立ってきた。これまでは、観光地(観光客の発地)と観光地(観光客の目的地)との距離が近いことが、観光客の誘致に有利とされてきた。しかし、近年は、観光客の発地と目的地との距離が遠く、観光客の発地から観光地までの移動手段が複雑化している。また、観光客の発地から観光地までの移動手段が複雑化している。また、観光客の発地から観光地までの移動手段が複雑化している。

観光資源とは、①高い近況、②科学的技術を示す施設、③地域の特性に根ざした観光資源、④地域産業や伝統工芸技術、⑤地域産業や伝統工芸技術、⑥地域産業や伝統工芸技術、⑦地域産業や伝統工芸技術、⑧地域産業や伝統工芸技術、⑨地域産業や伝統工芸技術、⑩地域産業や伝統工芸技術、⑪地域産業や伝統工芸技術、⑫地域産業や伝統工芸技術、⑬地域産業や伝統工芸技術、⑭地域産業や伝統工芸技術、⑮地域産業や伝統工芸技術、⑯地域産業や伝統工芸技術、⑰地域産業や伝統工芸技術、⑱地域産業や伝統工芸技術、⑲地域産業や伝統工芸技術、⑳地域産業や伝統工芸技術、㉑地域産業や伝統工芸技術、㉒地域産業や伝統工芸技術、㉓地域産業や伝統工芸技術、㉔地域産業や伝統工芸技術、㉕地域産業や伝統工芸技術、㉖地域産業や伝統工芸技術、㉗地域産業や伝統工芸技術、㉘地域産業や伝統工芸技術、㉙地域産業や伝統工芸技術、㉚地域産業や伝統工芸技術、㉛地域産業や伝統工芸技術、㉜地域産業や伝統工芸技術、㉝地域産業や伝統工芸技術、㉞地域産業や伝統工芸技術、㉟地域産業や伝統工芸技術、㊱地域産業や伝統工芸技術、㊲地域産業や伝統工芸技術、㊳地域産業や伝統工芸技術、㊴地域産業や伝統工芸技術、㊵地域産業や伝統工芸技術、㊶地域産業や伝統工芸技術、㊷地域産業や伝統工芸技術、㊸地域産業や伝統工芸技術、㊹地域産業や伝統工芸技術、㊺地域産業や伝統工芸技術、㊻地域産業や伝統工芸技術、㊼地域産業や伝統工芸技術、㊽地域産業や伝統工芸技術、㊾地域産業や伝統工芸技術、㊿地域産業や伝統工芸技術、

観光経済新聞の「地域経済を拡大させる方程式」

観光産業+地域内産業+住民=観光交流の拡大



観光資源とは、景勝地や名所旧跡ではありません。いま、求められているのは、ありのままの日常から得られる共感や感動です。あるいは、日常の衣食住の生産プロセスを自ら確信し、安心することです。そうした地域や場所が、観光客を呼び込み、地域経済が拡大します。

第1歩は、新たな観光資源づくりに向けた三位一体のコンセンサスです。それは、3者が同じテーブルについて対話することから始まります。

観光経済新聞におまかせください

永年、全国で観光地活性化座談会を展開した実績は、比類ないものです。地域にふさわしい方向を、座談会によって導き出すお手伝いをします。

お問い合わせ 観光経済新聞社・産業観光活性化支援室 TEL03-3827-9800 E-mail:info@kankokeizai.com

シリーズ産業観光企画書 住んでよし、訪れてよしの郷土づくり「交流人口拡大が地域のブランド化を促進」を送付します。また、ご要望に応じて企画説明へ担当者派遣にも応じます。